

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		名嘉村 盛和		所 属		工学部 情報工学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	専門教育はJABEE基準の講義を行う。三、四年生対象のアルゴリズム論、並列分散処理では、プログラミング能力向上に資する内容にする。卒業研究、セミナーでは学習教育目標を高いレベルで達成できるよう細かい指導を行う。enPiTと連携して大学院の実践系授業を実施する。				0.30	専門教育においてJABEE基準の講義(教育内容および達成度評価)を行った。特にモデリングと設計では、アジャイル開発手法を導入することで学生がより能動的にプロジェクトに参加するようになる等、教育方法を改善できた。卒業研究では個別指導の回数を増やし従来より細かい指導を行うことができた。大学院教育ではenPiTと連携して高度な実践教育を実施した。				
研究	0.35	最適化計算およびその並列処理に関する研究を引き続き推進する。またバイオ情報処理等、学際的なテーマに積極的に挑戦する。研究成果はできるだけ論文誌、国際会議、国内研究会で報告する。学会活動として電子情報通信学会システム数理とその応用研究専門委員として当該分野の研究を推進する。IEICE Trans. on Fundamentalsの編集委員として質の高い論文誌の編集につとめる。				0.35	国際会議2件発表、ジャーナル1件採択、別のジャーナル1件が現在査読中となっている。今年度の成果でさらに2件の投稿を準備している。電子情報通信学会システム数理とその応用研究専門委員としてジャーナル特集号のゲストエディターを担当するとともに、IEICE Trans. on Fundamentalsのエリアエディターとしての役割を果たした。				
社会貢献	0.10	沖縄情報産業協会外部理事として沖縄県情報通信産業の発展に向けて努力する。人材育成にかかる沖縄県、民間の取り組みに積極的に参加する。				0.10	沖縄情報産業協会理事会、沖縄県情報通信産業関連事業に関わる委員会等において、沖縄県内の情報通信産業の諸課題に対して意見を述べた。ETロボコン運営委員、沖縄地区審査委員長の役割を通して若手エンジニアの人材育成活動を行った。沖縄県のIT人材育成事業の一環で、小学生向けのセミナー講師を担当した。				
管理運営	0.20	学科入試委員長として、入試関連業務をとりまとめる。全学ハラスメント防止対策委員会委員として良好な職場環境の維持に努める。				0.20	学科入試委員長として、入試関連業務をとりまとめた。全学ハラスメント防止対策委員会委員として良好な職場環境の維持に努めるため、積極的に意見を述べるとともに規則改定WG等でも活動した。				
進路指導	0.05	研究室の学部生、大学院生の進路指導を丁寧に行う。年次指導教員として、四年次の進路指導を行う。学科相談員として学生が抱える諸問題が改善するように努める。				0.05	研究室の学部生、大学院生の進路指導を行った。全員希望する進路に決定した。年次指導教員として、他研究室の四年次の進路相談に対応した。				
	0.00					0.00					
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		玉城 史朗	所 属		工学部 情報工学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	担当科目:情報数学I,IIは一年次の入門科目であるため、学生が理解しやすい講義内容となるように工夫していく。また、大学院講義も数理解析を中心とした内容を主に、理解を深めるような講義を行う。また、産業社会学原論(3年次担当)は目的意識を喚起するような講義を行っていく。		0.30	担当科目:情報数学I,IIは一年次の入門科目であるため、学生が理解しやすい講義内容となるように工夫できた。また、大学院講義も数理解析を中心とした内容を主に、理解を深めるような講義を行った。また、産業社会学原論(3年次担当)は目的意識の喚起が不足と思われるので来年度改善する次第である。
研究	0.40	科学研究費基盤(C)平成25年度ー平成27年度(採択):総合計507万円(間接経費込) JST・知財ハイウェイ(特許の実施のための調査)(出願中) 総務省SCOPE(ICTイノベーション研究創出型事業)(出願中) JST・A-Step:小型風車の出力変動制御系設計で出願予定 上記の研究開発において、発表論文4件、国際会議4件、特許出願2件を目指す。		0.40	科学研究費基盤(C)平成25年度ー平成27年度(採択):総合計507万円(間接経費込)上記の研究開発において、学会誌論文4件、国際会議10件、特許出願中1件を実現した。その他電気学会講演論文賞受賞。
社会貢献	0.10	産学官共同研究(総務省SCOPE事業)を実施することで、地域街おこし(多良間村)に貢献する。		0.15	地域街おこしの貢献が評価され、沖縄総合通信事務局より地域貢献感謝状を受賞した。
管理運営	0.10	今年度は、私自身の体調を考慮していただき、学部・学科の主な委員会委員を免除いただいているが、特に、学部研究推進委員会では積極的に、学部構成員の研究活動活性化に貢献していく。		0.05	管理運営に関しては、私自身の体調不良で、学科内委員、学部委員は減免していただいている。今後、体調管理を徹底することにより、学科及び学部に貢献していく次第である。
進路指導	0.10	博士学生が今年度で修了するため、その後の進路指導も充分に行っていきたい。また、研究室配属4年次の就職相談は積極的に行っていく。		0.10	博士学生が今年度で修了した。研究室4年次4名及び修士2年次の就職もすべて内定した。
	0.00	特になし。		0.00	特になし
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		和田 知久		所 属		工学部 情報工学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.30	1) 担当科目で、JABEE基準並みで実施をする。 2) 設計関連講義で、実習を取り入れた実践的内容を実施する。 3) 道徳・倫理関連の講義をさらに充実したものにする。 4) 教員免許講習他、通常外の講義・教育を積極的に担当する。				0.25	左記目標事項を100%実施した。 H25年度の情報倫理の名護宿泊集中講義では、他研究室・先生の助けもあり、雰囲気の良い研修を実現し、補習学生も少ない良い内容を実施できた。				
研究	0.30	1) 修士学生の国際学会発表を複数名実現する。 2) 交流協定を活用し国際研究を活性化し、成果を出す。 3) 複数の外部資金への応募を行う。				0.40	複数名の学生の国際学会発表を行った。また、SCOPE研究に沖縄高専との共同および、工学部電気電子との共同で2件採択され、研究活動で非常に多忙な年度となった。すでに、次年度4月および6月の査読つき国際学会に2件採択されている。交流関連では、インドネシアバンドン工科大学との交流、およびハノイ工科大学との交流を実施した。				
社会貢献	0.20	1) 兼業としての会社関連のサポートを怠りなく実施する。 2) 学外講演などを実施する。				0.15	前期は兼業等でのサポートを実施した。後期は受託研究多忙となり、そちらに注力した。高校への出前講座2件実施、韓国・忠北大学での学外講演を実施した。				
管理運営	0.10	1) 学科就職指導担当として、学生の就職に関して良い成果を出す。 2) 学内委員などの責任を忠実に果たす。				0.10	就職関連は、景気上昇もあり、公務員・教員志望以外は、まずまずの成果があった。学科委員の目玉は就職担当であり、大きな問題なく指導等を実施した。				
進路指導	0.10	1) 研究室や周辺学生達の社会性をはぐくみながらの進路指導を実施する。				0.10	問題なく、担当学生の進路は決定した。				
	0.00					0.00					
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。		<input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		アシャリフ・モハマッド・レザー		所 属		工学部 情報工学科		職 名		教授	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.40	学部担当科目: DSP, Simulation、先端情報工学概論(1/4)、Frontier Engineering (URSP短期留学生のために担当教員英語で行う)、Technical English Presentation(技術英語発表)。大学院担当科目: 信号処理論、Technical Reading & Writing、Signal Processing Theory (for special course in English)、Overview of Engineering Program (for special course in English)。博士(後期課程担当科目: 音響信号処理特論(Acoustic Signal Processing)(given in English for Japanese or Foreign students)。				0.40	DSP:前期行いました。Simulation:後期行いました。先端情報工学概論後期行いました。URSEP(Frontier Engineering)後期行いました。大学院担当科目: 信号処理論前期行いました。TRW前期行いました。Overview of Special Program for Engineering:講義担当後期行いました。Signal Processing Theory後期行いました。博士(後期課程担当科目: 音響信号処理特論(Acoustic Signal Processing)開講なし。Technical English Presentation (技術英語プレゼン):講義担当後期行いました、英語で卒業論文発表しました。				
研究	0.20	Various kind of researches mostly related to Speech & Image Digital Signal Processing are under consideration such as: Data Mining, Particle filtering, Blind Component Processing, Water Marking, Echo Cancelling by ICA, Uncover News Dynamic by PCA, Adaptive Morphological Filters, Semantic Self-Organizing Map, Seamcarving, Blind Adaptive Channel Equalizer. In my lab. last year, we published many papers and attending many conferences. In coming year we will also consider to present in SAT, WCNC 2013, ITC-CSCC 2013, WorldComp' 13 Las Vegas, ICICIC 2013, ISPACS2013, SIP 2013 and Joint Conference of the IEEJ and IEICE2013.				0.20	左題名の研究について昨年論文Papers:6件、国際学会6件、国内合7件(計19)掲載と発表しました。2013年2月 Chungbuk National University in Korea 研究交流、Colaboration of Prof. Heung Gyoon Ryu.も行いました。他にテヘラン大学と大阪府立大学共同研究進み、何件論文を書きました。				
社会貢献	0.10	Chungbuk National University in Korea by coloboration of Prof. Heung Gyoon Ryu planned to visit (2013/2/2-13) and have lecture at Ryukyu University. Also, I invited Dr. Moradi of Tehran University to give lectures (2014/3/10-15).				0.10	CBNU大学Prof. Heung Gyoon Ryuは下記2件講演会行いました。1- Power Model of Wireless Transceiver and System Capacity 2- Beamforming Technology and Digital Retrodirective Array Antenn。テヘラン大学Dr. Moradi下記2件講演会行いました。1-Feature Selection and Detection: Application in Screening Autism 2-Human Inspired Robot Design: Pole Climbing and Dome Walking robots				
管理運営	0.20	今年は情報工学科専攻主任、国際交流委員会委員(Member of Avisory of Forein Students)、学生交流専門委員会委員、特別コース運営委員会委員などの委員会活動に積極的に参加する予定。その他、研究推進委員会委員もやっております。				0.20	情報工学科専攻主任、国際交流委員会委員、学生交流専門委員会委員、特別コース運営委員会委員、研究推進委員会委員などの委員会活動に積極的に参加しました。				
進路指導	0.10	卒業生4人、修士2人(9月一人修了予定)、博士2人、研究員(PD)1				0.10	卒業生4人、修士4人9月一人(He Cuiwei)修了し、博士2人、研究員(PD)1人(Khosravyさん2013年9月まで終了)。今年度は卒業生4人卒業し、修士一人(竹本政治)3月修了しました。2013年10月から特別コース私費留院学生(Jason Doyle Noble アメリカ人)入学して、今M1です。博士課程は二人(Carlosさん4月からD3、横田さん)。				
	0.00					0.00					
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。				1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		岡崎 威生	所 属		工学部 情報工学科
			職 名		講師
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.35	WebClass活用による学生個別の学習状況提供と、例題や演習を多用して講義方法を改善する。 教職志望学生の実践能力を養成する。 3年次に対するキャリア教育と創発的活動の向上に取り組む。		0.35	Webclass機能を利用して学生個別の修学レベル提示を逐次行った。例題と演習を多用した授業方法により知識の定着に努めた。ビデオ教材提供は継続して行ない、学生の復習に効果をあげた。 新設の教職科目「教職実践演習」を企画・実施し4年次教職志望学生の資質向上を図った。 3年次に対する卒業後進路指導・相談を行い、自己啓発を促進した。
研究	0.30	大学院学生と共に研究論文を3本以上投稿し採択を目指す。 各種外部資金の獲得に努め、関連企業との共同研究を進める。		0.30	研究論文を4本投稿し、3本が査読付き論文誌に採択された。 企業との共同研究の中で、継続テーマに加えて新たなテーマを1件提案し、研究交流を活発化させてきた。
社会貢献	0.20	高大連携事業に取り組み、高校生の進学意識向上を支援する。 人材育成事業に参加し、高度職業人養成に貢献する。 学生とともにボランティア活動に取り組む。		0.15	沖縄県立美来工科高等学校との高大連携事業において、教職志望学生による授業実践を行なった。 海浜清掃活動を実施した。 企業からの技術相談に対応し、産学連携の公募案件に2件参画した。
管理運営	0.10	工学部社会連携委員、学科入試委員と計算機委員などの委員会活動に積極的に参加し、大学運営に貢献する。 教員養成運営委員として教員資質の向上に貢献する。 オンライン授業評価が適切に実施できるよう指導する。		0.15	大学案内作成WGのメンバーとして、大学案内企画策定に貢献した。 AO会議企画広報部門委員として、大学入学者アンケートの結果分析を行った。 工学部社会連携委員として就職説明会や工学部後援会事業の運営を行った。 教員養成運営委員として、教職ポートフォリオの実施や工学部教員免許取得の手引きを作成した。 学科オンライン授業評価の実施を指導し全教科で実施した。 IT戦略室委員として、学内IT教育案と監査実施案を策定した。
進路指導	0.05	研究室学生に対し個別面談を実施し、企業動向や就職活動の心得等を伝え、就職意識の啓蒙に努める。 3年次学生に対し各自のキャリアパスを意識させ、必要な科目履修や資格取得を促す。		0.05	研究室学生に対し個人面談を行い、学修状況と進路希望や家庭環境を把握し、修学指導を行なった。 3年次に対して個人面談を通して就学状況の把握と指導を行った。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	長山 格		所 属	工学部 情報工学科	
職 名	准教授				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	専門科目講義における学生の実践力向上を図る。特に、データベースの講義では実践力を養うためフリーDBシステムを授業で活用する。数理計画と最適化では、数値計算パッケージを用いた大規模計算練習を実施し学生の応用力・実践力を養う。また、共通教育科目(情報科学演習)についても、新入生にわかりやすく、かつ実践的実習を重視した授業を行う。		0.30	目標通り、データベース講義ではフリーDBシステムを使用した実践力重視の講義を行った。また新たにDBのバックアップシステムの実現方法について詳細に解説し学生の応用力強化を図った。数理計画と最適化では、数値計算パッケージを活用した大規模最適化方法について解説した。専門科目では安易な成績評価をせず、厳密な成績評価を行った。共通教育では、情報科学演習において実習中心の丁寧な授業を行い受講生に好評であった。プロフェッサーオブザイヤー(情報関係科目)を受賞した。
研究	0.30	研究成果の査読論文発表を1本以上行う。また、口頭発表を数件以上行う。国際会議実行委員として企画運営等を行う。研究分野に関する著書執筆作業を行う。また、国際ジャーナル論文誌の査読委員をつとめる。		0.30	目標通り、研究成果の査読論文1本を英文誌に発表した。また、国際会議SSS2013において発表を2件行った。国際ジャーナル誌Advances in Multimedia Technologyの査読編集委員をつとめた。IIHMSP(Beijing)のProgram Committeeをつとめた。
社会貢献	0.20	各種学会の実施と運営を行う。情報処理学会等の委員を務め、学会集会の計画・実施、ならびに産学交流と社会貢献を行う。さらに、国際会議の運営委員を担当する。また、社会人を対象とする公開授業を提供する。あわせて、高校生を対象とする公開授業の提供を行う。		0.20	情報処理学会の九州支部評議員、通信学会研究会委員などを担当し、各種委員会や学会運営に参画した。地域貢献では、社会人を対象とする公開授業(マルチメディア情報処理)を提供した。また、高校生を対象とする公開授業(数理計画と最適化)も提供した。
管理運営	0.10	大学入学試験委員、学部教授会、研究科委員会、学科委員、学生相談員などの委員会活動およびFD活動に積極的に参加する。		0.10	教授会、学科会議、生涯学習教育研究センター運営委員など各種委員を担当・参加するとともに、大学入試関係では2次試験入試の実施を担当した。さらに2次試験では例年に引き続き数学委員を担当した。また、工学部のTOEFL実施委員を担当し、TOEFL-ITPの実施・運営を担当した。
進路指導	0.10	学生の進学・就職・進路指導・相談等を積極的に行う。また、修士および4年生に対してはゼミ・面談等を通じて進路指導・修学指導を多面的に行う。		0.10	4年生や修士の担当学生の進路指導や生活相談を積極的に実施した。各種奨学金の受給・返還をサポートするなど学生の指導に努めた。これにより院生(修士修了)が第1種奨学金返還免除となった。また、理工系の修士進学者数が全国的に増加していることを、メリット・デメリットを交えて多面的に説明し、修士への進学者の増加を図った。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		河野 真治	所 属		工学部 情報工学科
			職 名		准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	[実験] Game 班では Unity によるゲーム作成を行い、Global Game Jam への参加を目指す。[授業] Programming 3 では、小さいプロダクツの生成に集中する。2ヵ月単位のプロジェクトを複数行い、細かく管理する。課題の評価を即時で行うスクリプトを作成し実際に用いてみる。[授業] ソフトウェア工学の授業での関数型言語Haskellの利用と、証明支援系の使用を導入する。		0.30	[実験] Unity によるゲーム作成を行い、Global Game Jam で成果を上げた。[授業] Programming 3 では、Open Source Conference で成果発表を行った。[授業] ソフトウェア工学の授業では、Haskell/Agda を導入し、良好な結果を得た。
研究	0.50	[並列分散 Data Segement] Alice を発展させた Jungle という分散DBの設計と実装を行う。Crest への研究提案を行う。[Jungle の Haskell 実装] Jungle の Haskell による実装を行い、関数型言語での実装法について調べる。[Jungle の Java 実装] Alice 上の Jungle の実装を行い、関数型言語での実装の性能評価を行う。[Jungle の CbC 実装] CbC 上の Jungle の設計を行う。[Continuation based C] GCC 版、LLVM 版を作成する。[Tree VNC] 実際の授業で用いる画面共有システムTree VNCの実装を進める。		0.50	[並列分散 Data Segement] Alice の実装を進め、科研費の申請を行った。[Jungle の Haskell 実装] Jungle の Haskell による実装を行い特に書き込みで良好な性能を得た。[Jungle の Java 実装] Alice 上の Jungle の分散実装を行い、良好な結果を得た。[Jungle の CbC 実装] GPU の Open CL 及び Cuda 上の実装を行った。CbC の設計を進めた。[Continuation based C] GCC 版、LLVM 版を作成した。[Tree VNC] 実際の授業で用いる画面共有システムTree VNCに、ユーザ切り替え機能、Retina 用の画面サイズ制御、Video Feed back 抑制機能を追加した。
社会貢献	0.05	[Seminar] 勉強会をインターネット上で公開する形で開く。[Game] Game Programming Jam に参加する。[Java Kuche] 社会人、学生を対象とした、Java、ソフトウェアフレームワークの勉強会の 団体であるJava Kucheのサポートを行う。[Facebook] Facebook の沖縄ユーザグループへ積極的に参加する。[学会] 沖縄の研究会の開催に協力する。[共同研究] 東京の企業の共同研究を進める。		0.05	[Seminar] いくつかの授業を公開授業とする準備を進めた。[Game] Game Programming Jam に参加した。[Java Kuche] 社会人、学生を対象とした、Java、ソフトウェアフレームワークの勉強会の 団体であるJava Kucheのサポートを行った。Open Source Conference Okinawa でのセミナーを行った。[Facebook] Facebook の沖縄ユーザグループへ積極的に参加した。[学会] 沖縄の研究会の開催に協力した。2013,沖縄での研究会を行った。[共同研究] 東京の企業の共同研究を進めた。Symphonies 及び、CREST (ディペンダブルシステム)へ研究を通して貢献した。
管理運営	0.10	[サーバ管理] Blade 上での仮想マシンの管理を差分を用いるものに改良する。OS の授業とプログラミング3,4の授業での効果的な使用法を示す。		0.10	[サーバ管理] Blade 上での仮想マシンの管理を KVM の差分を用いるものに改良した。OS の授業とプログラミング3,4の授業での使用した。
進路指導	0.05	修士の学生に、スケジュールリングを意識した就活を提案する。3年次の学生にプログラミング3,4を通して自分でアピールできる プロジェクトを達成させる。多様な就職先を提案する。		0.05	修士の学生に、スケジュールリングを意識した就活を提案した。3年次の学生にプログラミング3,4を通して自分でアピールできる プロジェクトを達成させる。多様な就職先を提案した。
	0.00			0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	長田 智和		所 属	工学部 情報工学科	
職 名	助教				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定	業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.30	情報工学実験1-2では、実機を用いた基本的なネットワーク構築のスキルを習得させる。同3-4では、学科計算機システム管理を通して、実践的な情報システム構築管理のスキルを習得させる。講義科目「情報ネットワークII」では、情報システム・情報ネットワークへの応用技術について講義する。研究ゼミでは、情報システム・情報ネットワーク技術に関する実践的な研究テーマについて学生に取り組ませる。	0.30	情報工学実験1,2において、実機を用いた基本的なネットワーク構築のスキルを習得させた。同じく3,4においては、学科計算機システム管理を通して、実践的な情報システム構築管理のスキルを習得させた。講義を担当している「情報ネットワーク2」では、あえて教科書は用いず、私のシステム開発・構築運用経験を題材として、情報ネットワーク1との繋がりを意識しながら講義を行った。また、今期は沖縄クロスヘッド社と連携し、同社が提供するクラウドサービスを無償提供して頂く形で講義の演習に活用した。講義開始時の学生の知識が少なく、要所所で復習を多分に入れながらであったが、自己評価で90点の内容だったと思う。次年度は更に講義内容を改善したい。研究ゼミでは、民間企業との連携プロジェクト(OIX)に大学院生を参画させるなど情報システムおよび情報ネットワーク構築運用技術を実践的に指導した。また、主査として修士学生を指導し、2名の修了生を排出(予定)することができた。	
研究	0.30	外部資金獲得を目指し、情報システム・情報ネットワーク技術を活用した、地域における情報サービスの共通基盤(ID連携技術など)構築に関する研究を推進する。その過程において、研究会発表、さらには、成果論文発表(投稿)に向けて開発成果を蓄積する。 (成果目標:査読論文1編以上、口頭発表3件以上)	0.30	指導している研究員及び大学院生と論文投稿及び学会発表に勤しんだ。その結果、研究室全体で、ジャーナル論文投稿1本、、学会発表2件の成果が上がった。また、次年度のプロジェクト活動推進に向けて、科研費・若手(B)、及び、民間助成金に応募するなど外部資金獲得活動にも熱心に取り組んだ。今後も研究プロジェクトを(予算獲得も含めて)積極的に推進し、社会へのアピール活動や成果論文の蓄積など実績を挙げていく。	
社会貢献	0.05	沖縄電力主催の青少年科学作品展(H26年1月開催)への出展にむけた企画を立案する。	0.05	沖縄電力主催の青少年科学作品展(H26年2月開催)に8年連続で出展した。また、残念ながら獲得を目指していた外部資金は落選だったが、民間企業と連携して地域振興型のプロジェクト活動(ID連携特許技術の活用)を企画中であり、次年度はそれを推進したいと考えている。今後も引き続き、学校や地域社会への教育や科学技術の理解・普及のための努力を継続していくつもりである。	
管理運営	0.30	学科各種委員会の業務を率先してこなし、円滑な学科運営に貢献する。また、学科情報システム担当教員として、昨年度更新された新学科システムの安定運用及び改善に努める。さらに、全学の情報システム運営委員、セキュリティ運営委員、IT戦略室員としての職務も、自身の専門性を生かして積極的に取り組む。	0.30	学科教務委員として、主に学部、大学院、共通教育科目の時間割編成を担当し円滑に業務を行った。また、学科システム運営では、最新のブレードサーバーやネットワーク機器を構築し、その安定運用に努めた。全学委員としては、情報システム運営委員、セキュリティ運営委員、IT戦略室員として、規定の作成等に貢献した。	
進路指導	0.05	担当学生が希望する進路(就職・進学等)に進めるよう、積極的にサポートする。特に、就職希望の学生に対しては、就職試験対策(履歴書チェック、面接対策等)を積極的に行う。	0.05	担当研究室の学生が希望する進路(就職・進学等)に進めるよう、積極的にサポートした。特に、就職希望の学生に対しては、就職試験対策(履歴書チェック、面接対策等)を積極的に行った。その結果、就職希望のだったB4:2名、M2:2名とも希望する就職先に内定した。なお、学部生については修士課程へ進学し、十分なスキルアップの上での大手企業への就職を勧めている。	
	0.00		0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。			<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		



(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前	宮里 智樹		所 属	工学部 情報工学科	
職 名	助教				
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	学科担当科目(情報工学実験1、2、3、4)を担当し、エンジニアリングデザイン教育の導入を試験的に行う。修士の実践演習Ⅰ、Ⅱの適切な実施に向けた支援を行う。		0.20	学科担当科目(情報工学実験1、2、3、4)を担当し、実験2、3においてエンジニアリングデザイン教育の導入を試験的に行った結果、学生の自発的な活動を引き出した。修士の実践演習Ⅰ、Ⅱに関しては、積極的に関わる事ができなかった。次年度はスケジュール管理に配慮し、関わり方を改善したい。
研究	0.25	大学院博士過程の学生と共に研究論文の採択を目指す。外部資金を獲得し、連携企業との共同研究を継続し、実社会に応用出来る技術の研究開発に努める。		0.20	大学院博士過程の学生と共に研究論文を提出すべく現在執筆中であり、できるだけ早く投稿出来るように努めたい。連携企業との共同研究を継続し、実社会に応用出来る技術の研究開発に努めたが、具体的な外部資金獲得には至らなかった。
社会貢献	0.20	琉球大学における実践的高度IT人材育成事業の定着を目指して、産業技術大学院大学との協定事業を推進する。今年度はenPiTの活動支援を行う予定である。APITT事業の継続に協力する。NPO法人OPSIの理事として、オープンソースの普及に努める。社団法人IIOTの技術委員長として、IIOTの活動を支援する。		0.25	今年度は、社団法人IIOTの技術委員長としてIIOTの事業活動の活性化に貢献した。来年度も引き続き運営サイドからの支援を行いつつ、研究開発の部分でも連携して行きたい。
管理運営	0.30	年次指導教員や、入試委員、計算機実験委員、安全衛生改善委員、安全衛生委員などの委員会活動に積極的に参加する。		0.30	年次指導教員として、卒業研究関連の業務等を担当した。安全衛生改善委員、安全衛生委員として活動に積極的に参加した。
進路指導	0.05	2名の卒業研究配属者に対して、就職希望者に対しては早期の就職活動を促し、進学希望者に対しては、進学についてのサポートを行い、円滑に進路決定が行える様に努める。修士4名の研究計画の立案をサポートしつつ、修士2年次に関しては、就職活動の精神的サポートに注意していきたい。		0.05	2名の卒業研究配属学生に対して、1名は修士課程への進学を、もう1名はトランスコスモス株式会社への就職活動を支援した。修士2年生2名については、1名は博士課程へ進学を、もう1名は株式会社OCCへの就職を支援した。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

名 前		吉田 たけお	所 属	工学部 情報工学科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.35	学部担当科目(情報工学実験Ⅰ～Ⅳ)を担当し、JABEEの基準を満たす講義を行う。学生による授業評価アンケートの集計結果に基づき、授業内容および補助資料の改善を行う。		0.35	授業評価アンケート等の結果に基づき、授業内容および補助資料の改善を行った。今後もより一層改善をする必要があるが、今年度の目標は達成したと考える。	
研究	0.30	大学院博士前期課程の学生と共に研究会での発表および研究論文の採択を目指す。外部資金を獲得し、実社会に応用できる技術の研究開発に努める。		0.30	電子情報通信学会の合同講演会において、学会発表を行った。新たに立ち上げた研究テーマでの発表準備も進めているが、まだ、論文誌への投稿には至っていない。早急に投稿できるように努める。また、外部資金に関しては、残念ながら、今年度は獲得できなかった。	
社会 貢献	0.10	沖縄工業高等専門学校・情報通信工学科4年次に対して通年で開講される科目「情報通信総合演習」を、非常勤講師として担当する。また毎年、沖縄県内で開催されるLSIデザインコンテストの実行委員を務める。		0.10	LSIデザインコンテストについては、現時点で未実施であるが、2014/03/14に実施予定である。なお、非常勤講師については、目標通りに実施した。	
管理 運営	0.15	学科入試委員、学科計算機実験委員などの委員会活動に積極的に参加する。次年度は新生の年次指導教員になることが予想されるため、特に、入試委員会の業務(試験監督や採点作業等)に積極的に取り組むよう努める。		0.15	全ての委員会に積極的に参加し、貢献を行った。	
進路 指導	0.10	研究室に所属する学生に対する進路指導に努める。		0.10	博士前期課程2年次の指導教員として、当該学生に対する進路指導、修学指導を行った。また、研究室に所属する学生に対しても進路指導を行った。	
	0.00			0.00		
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		宮城 隼夫	所 属		工学部 情報工学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.30	(1)大学院生教育と一年次学生教育の組み合わせの斬新な教育体制を敷き、リーダー・構成員形式のデザイン教育を行う。(2)活躍している社会人を講師として招き、学生が広い視点から物事を考えられるような教育を行う。(3)入学時点で数学力の弱い学生を選抜し、大学の情報工学の講義についていけるための高校の基礎数学力を養成する。		0.30	(1)院生教育と一年次学生教育を組み合わせた斬新な教育体制を敷き、リーダー・構成員形式のデザイン教育を行った。(2)活躍している社会人を講師として招き、学生が広い視点から物事を考えられるような教育を行った。(3)入学時点で数学力の弱い学生を選抜し、大学の情報工学の講義についていけるための高校の基礎数学力を養成した。
研究	0.30	(1)研究の効率化と他研究機関との連携を深めるため、多組織との共同研究体制を組む。(2)得られた研究成果を国内、国際学会等で発表する。		0.30	(1)研究の効率化と他研究機関との連携を深めるため、沖縄高専、青山学院大学との共同研究体制を組んだ。(2)得られた研究成果をISITA国際学会で発表、またジャーナル論文誌に一編採録された。
社会貢献	0.05	(1)NPOに副理事長として参加し、専門知識に基づく社会貢献を行う。(2)支部長を務める学会と地域産業界との交流を行い、県内の産業の発展を図る。		0.05	(1)NPO副理事長から理事長になり、専門知識に基づく社会貢献を行った。(2)支部長を務める地理情報システム学会と地域産業界との交流を行い、県内の産業の発展を図めた。(3)情報産業協会のiTAP教育事業に委員として参加した。
管理運営	0.30	(1)学科長として、学科の総括を行う。(2)学科の予算、将来計画、構成員の評価、学生の修学の指導を行う。(3)工学部代議員として学部の運営に携わる。		0.30	(1)学科長として、学科の総括を行った。(2)学科の予算、将来計画、構成員の評価、学生の修学の指導を行った。(3)工学部代議員として学部の運営に携わった。
進路指導	0.05	(1)活躍する社会人を招き、講話を通して、専門と社会の繋がりを考えさせる。		0.05	(1)活躍する社会人3人を招き、それぞれの多種多様な専門分野の講話を通して、専門と社会の繋がりを考えさせた。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)					
名 前		高良 富夫	所 属		工学部 情報工学科
			職 名		教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果
教育	0.20	シラバスに示したとおりの学科の学習教育目標に沿った内容と方法、評価基準・方法により、学部担当科目および大学院科目を担当し、効果的な講義を行う。プロジェクトベース学習を推進する。自分の研究成果を活用してデモを行い、おもしろい講義を進める。全学・学部内FD活動に積極的に参加する。「科学者の倫理」の教育を推進する。		0.20	「言語理論とオートマトン」「自然言語工学」「音声情報処理論」ほかを担当し、効果的な講義を行った。「プロジェクトデザインII」においてプロジェクトベース学習を推進した。音声の研究成果を活用してデモを行い、おもしろい講義を進めた。学内トップセミナー、工学部教授会のFDはもとより学部内では「ゆんたく会」に積極的に参加した。「科学者の倫理」の授業に毎回出席した。
研究	0.20	学生と共に研究論文を投稿し採択を目指す。科研費の研究テーマを推進する。国際学会及び国内学会で発表する。他大学と連携した研究を継続する。企業等と連携した研究を行う。		0.20	研究室修了生と共に研究論文を投稿し査読付き論文1件が採択された。科研費の「言語音声獲得のモデル」の研究を推進した。国内学会で2件発表した。茨城大学と連携した研究を継続した。博物館と連携した三線音の研究を行った。
社会貢献	0.15	県内でのIT関連審議会に参加する。福祉関係の学校の非常勤講師を務める。公開授業を提供する。教員10年研修を提供する。海外の協定校と交流を行う。		0.10	県内でのIT関連審議会や学校運営委員会に委員長・委員として参加した。言語リハビリ学院の非常勤講師を務めた。公開授業を2科目提供した。「おもしろ話しことばの実験室」として教員10年研修を提供した。
管理運営	0.40	工学部長として、工学部の教育、研究、及び社会貢献が効果的に行われるよう、副学部長と協力して精力的に取り組む。また工学部内の融和・協力のための方策を推進する。		0.45	工学部長として、工学部の教育、研究、及び社会貢献が効果的に行われるよう、副学部長会を月2回開いて精力的に取り組んだ。また工学部内の融和・協力のため学部内電子掲示板「ゆいまーる」を活用し、「ゆんたく会」を推進した。
進路指導	0.05	「プロジェクト・デザインII」において、将来の就職を見据えた進路指導を行う。研究室の学生の進学・就職指導を行う。		0.05	「プロジェクト・デザインII」において、将来の就職先の方を講師に招き、進路を考察させた。研究室の学生の進学・就職指導を綿密に行った。
	0.00			0.00	
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。	

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)							
名 前	遠藤 聡志		所 属	工学部 情報工学科		職 名	教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.30	学部専門:線形代数、ソフトコンピューティング、人工知能、キャリア実践 共通教育:情報科学演習 大学院情報専攻:複雑系工学論 シラバスを活用し、計画的に実施する。Webcassを活用し履修者の理解度を適宜把握しながら講義を進行する。		0.30	各講義をシラバスにそって計画的に実行した。大学教育センター教育改善経費により、PROGテストおよびTOEFL-ITPの実施、を試みた。5名の卒業研究指導。3名の修士論文指導おこなった。京都大学との合同でデザインスクールを実施した。		
研究	0.30	web miningに関する技術開発、GameAIに関する研究、ARIに関する基礎技術の開発、評価と応用、エージェントシミュレーションのITS分野への適用を行う。 情報処理学会全国大会、FANシンポジウム等で成果公表する。2012に開催されたFAN2012の特集論文誌をJACIIIよりエディタとして発行する。		0.30	専門分野の研究結果について、情報処理学会全国大会、FANシンポジウム、FITへの成果公表を行った。JACIIIの特集論文誌にジャーナル1件が掲載された。		
社会貢献	0.10	沖縄県 高校生等のためのキャリア形成支援プログラム協議会委員 観光とけいざい紙においてITセミナーコラムの執筆		0.05	沖縄県 高校生等のためのキャリア形成支援プログラム協議会委員 キャリア形成支援のためのビジネスコミュニケーションカリキュラムの協議を、専門家とともに行った。成果をH26年度より本学のカリキュラムで展開する予定である。		
管理運営	0.25	総合情報処理センター長として全学情報基盤整備の管理運営 IT戦略室のCIO補佐として情報基盤整備戦略立案、規定整備の業務 URGCC隠し教育プログラム委員会委員(情報工学) 学科教務委員会委員長		0.30	総合情報処理センター長として、全学のセキュリティ対策の見直しおよび実施をおこなった。総合情報処理センターのISMS取得に向けた準備会議を外務コンサルタントを招聘しスタートさせた。URGCC委員およびそのWG委員の業務をおこなった。教務委員長として、カリキュラムのアセスメント案と卒研を用いた試行を行った。		
進路指導	0.05	学部4年生 5名 大学院前期2年生 1名 の進路相談を行う。また、大学院前期1年生の3名についても就職に関する指導を行う。		0.05	学部生5名、大学院生1名の進路相談を行った。公務員志望の就職浪人を含めて全員が進路を決定した。		
	0.00			0.00			
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)							
名 前	山田 孝治		所 属	工学部 情報工学科		職 名	准教授
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果		
教育	0.25	資料の充実に加え、学生の実体験向上型の授業に努めたい。学部：ソフト演習1, プログラミングII, 情報工学実験3, 4, 情報科学演習, 知能ロボット, 大学院：知能ロボット論, Intelligent Robotics, 博士後期：創発知能ロボット工学特論		0.30	プログラミング2では、ロボコード大会を行い優秀者のプレゼンを行ってもらい成果を確認した。ロボコードには卒研ヒアリングで、賛否があることがわかり、今後の効果を確認していきたい。 本年度より、実験は3のみとなった。ETロボコンでは、沖縄地区優勝し、全国大会に出場を果たした。		
研究	0.30	スマートデバイスを用いた教育支援システムの開発などの新領域の開拓、ロボットシミュレーション、Swarmインテリジェンスシステムをテーマとして学生と発表に努める。富士技術出版より昨年度開催したFAN2012シンポジウム論文特集号の論文集をゲストエディタとして出版予定。		0.25	発表4件、論文2件、積極的な発表が行えた。2012年度に実行委員長を務めたFAN2012シンポジウムからの特集論文のためのゲストエディタを行い、出版された。		
社会貢献	0.15	独立行政法人 国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金による子ども向け体験活動に内定しており、県内にてロボット工作教室を開催する。		0.15	研究室の学生らとともに、子どもゆめ基金活動は、8月12日 宜野座村文化センターがらまんホールにて、「キッズスタジオ夏のワークショップ」のひとつとして、ロボット工作教室を行った。		
管理運営	0.15	教務委員、実験検討委員長、それぞれ他の教員を患わせることなく、状況を良くできるように対応する。また、昨年度に引き続き工学部高専連携委員会委員長として、今年度も高専との学生研究発表会を成功させ、高専との共同研究の拡張を進める。		0.15	1月14日、15日の両日、H25琉大工学部・沖縄高専学生研究発表会開催を主催し、準備運営を行った。琉大工学部側は、ほぼ山田ひとりで準備を行った。ポスターに聴取者からシールを貼らせるなどの工夫で盛り上がりを見せた。工学部側の教員の参加数が今後の課題だ。他の委員会に関しても問題なかった。		
進路指導	0.15	卒研配属生に大学院進学を勧める。生徒のコミュニケーション能力の向上を考え対話時間を増やす。		0.15	卒研生2名が休学となった。そのうち一名は想定外だったので、今後、学生とのコミュニケーションにより注意が必要だ。他は、院進学2名。早期の就職内定など、学生のがんばりを感じることができた。		
	0.00			0.00			
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>		1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>		
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。			

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)											
名 前		赤嶺 有平		所 属		工学部 情報工学科		職 名		助教	
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定				業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果				
教育	0.20	実験1の講義内容をさらにブラッシュアップする。実験3においては、設計方法、スケジュール管理などを講義にできるだけ取り入れる。卒業研究においてもスケジュール管理方法について検討する。				0.20	実験1, 2については、講義内容を修正したがプログラミングに関する実験内容を引き続きブラッシュアップする必要がある。実験3においては、今年度はスケジュール管理に問題があったので今後検討の余地がある。卒業研究については概ね目標を達成した。新たに講義を開始した(ヒューマンコンピュータインタラクション)。				
研究	0.50	科研費採択課題である交通シミュレータ及びITSに関する研究をすすめる。コンピュータビジョンに関する研究をすすめる。1編以上の査読論文採択を目指す。次年度科研費獲得に向けて準備する。日本道路交通情報センターと連携して外部資金獲得を目指す。				0.50	交通(ITS)に関する論文を情報処理学会誌にて発表した。またITS研究会において2回発表を行い、一定の評価を得た(優秀論文賞)。日本道路交通情報センターとの連携については、調整中である。また、拡張現実を用いた技術開発について、民間企業と産学連携プロジェクト立ち上げに向け調整を行っている。				
社会貢献	0.10	日本道路交通情報センターと連携して観光客の渋滞回避に関する調査を行う。				0.10	日本道路交通情報センターとの連携に関しては、調整中である。拡張現実技術を用いた研究開発について、民間企業から数回の研究相談に応じた。現在、産学連携プロジェクト立ち上げに向け、調整を行っている。ITまつりにおいて、拡張現実を用いたアプリケーションを出展した。				
管理運営	0.10	各種委員会において着実に業務を遂行する。				0.10	自己管理委員、入試委員として業務を遂行した。				
進路指導	0.10	研究室及び他の学生に対して適切な進路指導を行う。				0.10	研究室及び他の学生に対し進路指導を行った。				
	0.00					0.00					
計	1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。</li> <li>・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。</li> <li>・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。</li> </ul>				1.00	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。</li> </ul>				
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。						<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。					

(別紙1) 本シートは平成26年5月以降に学内外へ公表されます。

平成25年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)						
名 前		當間 愛晃	所 属	工学部 情報工学科	職 名	助教
領域	業務 ウェイト比 (予定)	平成25年度 年度目標設定		業務 ウェイト比 (実績)	平成25年度 年度末自己点検結果	
教育	0.48	(1)学部担当科目(情報工学実験I/II/III/IV)を担当し、URGCCの基準を満たす実験を行う。 (2)卒業研究およびセミナーを担当し、研究活性化に結びつくよう学生指導に努める。特に、今年度は沖縄高専との連携強化に向けた取り組みを検討する。 (3)エンジニアリング教育および、情報工学科運営戦略研究会の討論を踏まえ、実験III/IVの新たなテーマ(データマイニング班)を立ち上げる。 (4)2013年度入学の年次指導教員として学生の意欲向上に努める。		0.48	(1)(3)担当科目の評価基準を明示し、達成できるよう指導した。特に実験2では口頭試問を通したレポート指導、実験3,4については新規実験班(データマイニング)を立ち上げ、コード・レビューを増やすことで全体の質向上に努めた。 (2)例年通り学部生向けセミナー実施に加え、複雑系工学研究室合同による院生向けセミナーを実施し、研究活性化を図った。また、沖縄高専との交流研究会を継続実施しており、互いに刺激し合えるよう努めた。 (4)個人面談・ML・ブログを通して指導に努めた。例外的な指導が必要な際には最大限努力を行った。	
研究	0.40	(1)学術会議等イベント参加時の情報整理を兼ねたブログ記事の作成。 (2)大学院修士課程の学生と共に学会発表を通した研究活動の公開並びに、研究発展を目指す。 (3)新しい研究シーズ検討を行い、研究の幅を広げる。 (4)国際会議への投稿を目指す。		0.40	(1)研究発表および聴講参加した情報処理学会全国大会、沖縄高専との交流研究会について参加記録を整理し、ブログ記事として公開した。 (2)例年通り一人一回以上の学外発表を行っており、3月の発表を含めて合計6件の学会発表となる予定である。 (3)日本認知言語学会、日本認知科学会を通した新たな知見を得つつ、シーズ検討を進めている。 (4)KESへの投稿ならびに論文採択された。	
社会貢献	0.03	(1)教育研究活動の学外に向けた情報発信。		0.06	(1)学科ブログを通してイベント参加レポートを公開した。 (2)京都大学共同によるデザインスクール実施における現地運営業務を行った。また、得られた知見を活かして学科カリキュラム(プロジェクト・デザイン2)の再検討を進めている。	
管理運営	0.07	(1)学科システムの stable な運用管理に努める(計算機実行委・ネットワーク委)。 (2)各種委員会活動に積極的に参加する。		0.04	(1)サポート的な立場でのトラブル/ヘルプ対応を行った。 (2)積極的に参加し、オープンキャンパス運営/入試委等の運営業務を行った。	
進路指導	0.02	(1)就職活動の進捗確認を行い、適宜指導する。 (2)進路指導の観点を加味したブログ記事作成(学生への周知)。 (3)2013年度学生への目標「目指す丘」探しをサポートする。		0.02	(1)就職活動中の学生らの進捗確認を行い、エントリーシートの書き方等適宜指導を行った。 (2)どのような心構えで修学するかについての記事作成だけでなく、工学部合同企業説明会の告知等、幅広い観点で学生へ周知した。 (3)教育の(4)に同じく、各種指導に努めた。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。	
※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。				<input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。		